

編集後記：近々掲載される2017年度秋季大会シンポジウムの「北極域」の記事では、海氷や陸域なども含めた総合的な視点から最新の知見がわかりやすく解説されています。私はこれまで秋季大会シンポジウムの記事を担当してきましたが、様々な分野の解説を一足先に読めるのは役得かもしれません。

さて、楽しく原稿を読んだ後には編集作業が待っています。参考文献欄の情報（著者名やページなど）や表記のダブルチェックにおいて、しばしば編集委員でも迷うのは雑誌名の略記法です（例えば“Meteorol.”ではなく“Meteor.”と略します）。原稿執筆要領には「略記法については最近の本誌参照」と指示されていますが、サンプルが見つからない場合は、アメリカ

気象学会誌の参考文献欄での略記法を参照したりもします。

著者の方々にはシンポジウム当日の講演資料の準備に加えて「天気」の記事の執筆に時間を割いていただき、さらに、取りまとめの著者の方には全体の調整で多大なご協力をいただいています。このようにして出来上がった記事は、当日に参加できなかった方にとって貴重な資料となります。また、査読を通じて幅広い読者が読みやすくなるように改訂もなされますので（専門的な用語・概念に説明が加わるなど）、当日に参加した方も「天気」の記事で二度目のシンポジウムをお楽しみください。

（柳瀬 亘）